

## 第5次行財政改革大綱の基本方針（案）について

### 【背景】

- 日野市では、1次～4次の行財政改革で事業の効率化・統廃合、民間委託の推進、職員数の適正化、利用者負担の見直しなどを実施してきました（3次・4次では、「行政サービス提供」も範疇）。
- 現時点での日野市の財政状況には破たんするような深刻な問題はなく、人口減少も全国傾向と比べると緩やかに進むと予想されています。しかし、今後見込まれる高齢化の進行（税収減、社会保障費増）、公共施設の再投資などを考えると、将来への備えは必須です。
- 人口動向を詳しく見ると、人口減少が始まるのは2025年ですが、2020年には頭打ちになる予測です。また人口構造は2015年で高齢化が加速、年少人口も2015年を境に減少局面に入る予想です（日野市人口ビジョン）。遠い将来への備えではなく、短中期的な問題として取り組んでいく必要があると認識しています。
- 一方、これまでの行財政改革で、行政のスリム化、歳入確保と歳出削減などについて、一定の基本的な改革は実施してきました。今後は、より改革が難しい部分にもメスを入れていく必要があり、そのためには、明確な目標を掲げ、庁内外で目標共有するとともに、市民の皆様にご理解をいただきながらその実現に向けて、取組を強力に推進していく体制が求められます。



### 【ビジョン】

- このようなことから、人口減少・高齢化、それに伴う税収減・社会保障費増、施設の更新投資の増大など、行財政運営の状況が厳しくなる将来においても、「可能性のある未来」が実現できるよう、人口の変化等が本格化する前に、持続可能な行財政運営基盤を強化し、責任ある経営を進めることが急務となっています。そこで、5次行革のビジョンを次のとおり設定します。

### 未来（あす）への責任を果たす経営」（案）【今後検討】

#### 【改革の目標】

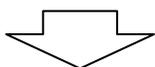
- ビジョンを確実に実現していくために、行財政運営にかかる目標を定め、それを達成していくために必要な取組を計画、実施していきます。

財政目標 ①～～、②～～、③～～、④～～、・・・

#### 【改革テーマ】

- これまで様々な視点から行財政改革に取り組んできましたが、まだ改革できる部分や改革途上の項目が残っています。5次行革では、これまで未着手であったり、実行が難しかった領域・改革にチャレンジしていく必要があり、そのためには、「歳入確保」と「歳出削減」に狙いをフォーカスし、全職員が一丸となってこれを追求していくことが重要となります。

### 「歳入確保と歳出削減」の追及



2020プランとの連動を考慮し、次の3つの基本方針に基づき、5次行革を進めていきます。

### 【3つの基本方針】

1. 持続可能性を確保した財政運営

【2020プランの施策107に対応】

2. 経営感覚のある市政運営と適正な事務管理

【2020プランの施策106に対応】

3. 市有財産の適正なストックマネジメントと有効活用

【2020プランの施策109に対応】

◆第4次行財政改革と第5次行財政改革（案）の柱の比較◆

5次行革の体系（案）		4次行革の体系	
I 持続可能性を確保した財政運営		1 改革により市民満足度の高いまち	
確実な収入強化（財源確保）	4次行革の項目をそのまま例示し掲載しています	(1) 安全で安心して暮らせるまち	※対象外（各個別計画・施策で実施）
創意工夫による財源確保		(2) 子どもたちが輝くまち	
積極的な財源確保		(3) 温かい福祉のあるまち	
歳出削減策		(4) 健康でいきいきしたまち	
適切な財政運営		(5) 日野人・日野文化を育てるまち	
市立病院の経営健全化	(6) 地域活力あふれるまち		
外郭団体の自立的経営	(7) 環境に優しい緑と水のまち		
II 経営感覚のある市政運営と適正な事務管理		2 「公民協働」で創造する新たな公共	
業務改善により機能的な行政システム		(1) 「公民協働」で高める地域力	※対象外（各個別計画・施策で実施）
民間活力導入により市民サービスの向上		(2) 情報の共有化による行政の透明性の確保	
創意工夫により効率的で効果的な行政運営		(3) 市民参画による行政運営	
		(4) 自立した団体が活躍するまち	
		3 市民サービスの向上を目指す行政運営	
		(1) 業務改善により機能的な行政システム	※対象外（各個別計画・施策で実施）
		(2) 民間活力導入により市民サービスの向上	
		(3) 創意工夫により効率的で効果的な行政運営	
		4 市立病院・外郭団体の経営健全化	
III 市有財産の適正なストックマネジメントと有効活用		(1) 市立病院の経営健全化	※対象外（各個別計画・施策で実施）
ストックマネジメント		(2) 外郭団体の自立的経営	
公共施設の計画的な更新と改修		5 将来を見据えた公共施設の配置と更新	
		(1) スtockマネジメント	※対象外（各個別計画・施策で実施）
		(2) 公共施設の計画的な更新と改修	
		6 財政確保と適切な財政運営	
		(1) 確実な収入強化（財源確保）	※対象外（各個別計画・施策で実施）
		(2) 創意工夫による財源確保	
		(3) 積極的な財源確保	
		(4) 歳出削減策	
		(5) 適切な財政運営	
		7 職員の育成と適正な給与水準	
		(1) 人材育成	※対象外（各個別計画・施策で実施）
		(2) 機能的な組織運営	
		(3) 適正な定員管理と給与水準	
		(4) 労働環境（職場環境）の整備	

但し、5次行革における項目の表現は、今後見直す予定です。  
また、新たな項目として追加すべきものについて、今後検討する必要があります。

◆5次行革の全体像◆

5次行革のビジョン

未来（あす）への責任を果たす経営」（案）（今後検討）

目標：いくつかの財政指標により目標を設定（今後検討）

改革テーマ：「歳入確保と歳出削減」の追求

3つの基本方針

1. 持続可能性を確保した財政運営

内容案：

基金積立、債務縮小など将来を見据えた財政運営基盤の強化に取り組むとともに、特別会計、市立病院の経営改善を通じ、財政健全化に取り組みます。また、創意工夫による歳入確保に挑戦する、社会状況の変化に対応して既存事業を見直し、「選択と集中」を進める、利用者負担や補助金等も必要に応じ見直すなど、持続可能な財政運営を確立します。

2. 経営感覚のある市政運営と適正な事務管理

内容案：

民間委託等の検証及び導入、契約制度の見直し、公金管理の適正化を推進します。  
業務の見直し、働き方を見直しにより時間外勤務の縮減を目指します。  
また、職員給与や各種手当は国、都、他自治体の状況を考慮しながら継続的に見直していきます。

3. 市有財産の適正なストックマネジメントと有効活用

内容案：

公共施設等総合計画に基づき、長期的な視点に立ち、将来世代に負担を残さないよう適正なマネジメントを行っていきます。  
将来的にも市としての利活用が難しい市有地の売却や臨時的な貸付により、管理コストの節減や歳入の増加を図っていきます。

取組項目

1-1 ~~~~  
1-2 ~~~~  
1-3 ~~~~  
・  
・  
・

2-1 ~~~~  
2-2 ~~~~  
2-3 ~~~~  
・  
・  
・

3-1 ~~~~  
3-2 ~~~~  
3-3 ~~~~  
・  
・  
・